

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

平成24年7月28日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 辻 井 昭 雄 様

所属部局・研究科 理学研究科

職名・学年 博士課程後期2年

氏名 座 安 佑 奈

助成の種類	平成24年度 ・ 国際研究集会発表助成	
研究集会名	12th International Coral Reef Symposium	
発表題目	The co-speciation between massive corals and gall crabs	
開催場所	Cairns, Queensland, Australia	
渡航期間	平成24年7月7日 ～ 平成24年7月14日	
成果の概要	「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無	
会計報告	交付を受けた助成金額	200,000円
	使用した助成金額	200,000円
	返納すべき助成金額	0円
	助成金の使途内訳	交通費123,354円 (往復航空券90,454円を含む)
		宿泊費の一部18,964円
		参加登録料54,682円
査証手数料3,000円		
当財団の助成について	参加登録料、交通費等が学生の私には高額であったため、貴助成がなければ参加はあきらめざるを得ない状況でしたので本当に感謝しています。貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございました。	

国際研究集会発表助成 成果の概要

理学研究科生物科学専攻 博士課程後期 2年 座安佑奈

参加研究集会名：12th International Coral Reef Symposium (ICRS2012)

主催：国際サンゴ礁学会

開催場所：Cairns コンベンションセンター及び SEBEL hotel, Queensland, Australia

開催期間：平成 24 年 7 月 8 日から 13 日まで

貴財団からの助成により、平成 24 年 7 月 8 日から 13 日までオーストラリアのケアンズで開催された第 12 回国際サンゴ礁学会大会に参加することができました。

4 年毎に開催される国際サンゴ礁学会大会は、サンゴ礁における研究で最大の大会であり、世界中の最新の研究、技術が議論されます。今大会でも参加者はサンゴ研究者、サンゴ礁に生息する生物の研究者、自然保護活動家、経済学者、教育者、学生と幅広く 80 カ国以上 2500 人以上が参加しサンゴ礁の持続的利用方法、保全活動、研究成果について話し合われました。そこに参加しないと聞けない発表、できない議論をたくさんすることができ非常に充実した大会期間を過ごすことができました。

筆者らはこの大会初日のポスターセッションで発表を行いました。Evolution, biogeography and taxonomy のテーマ内の Evolution, biogeography and taxonomy: general session にて The co-speciation between massive corals and gall crabs というタイトルで発表しました。国内では筆者らと似たテーマ、同じ対象生物の研究を行なっている研究者に出会ったことがありませんでしたので、じっくりと研究を進めていました。しかし今回、国際学会にて興味を持って発表を聞きに来てくれた研究者の中に数名似たようなテーマで研究している方がいることが分かり刺激になりました。非常にためになるアドバイスもいくつか頂けて、この大会に参加できて本当に良かったと実感しました。ぜひこの経験を生かし、今後の研究の発展に繋がっていきたいと思います。

今大会は参加費も学生の自分には高額でしたので貴助成がなければ参加を諦めざるを得ない状況でした。このような貴重な機会を与えてくださった京都大学教育研究振興財団に厚く御礼申し上げます。